

デジタル教科書を活用した 土木学習の実践

～社会科5年生「自然災害の防止」
単元の学習を通して～

埼玉県越谷市立弥栄小学校 長谷川 裕晃

はじめに

ICT機器やデジタル教材等の活用

各都道府県、市町村の重点施策

各学校では

- ・教育課程への意図的な位置づけ
- ・授業実践を推進

ICT機器やデジタル教材を活用した授業



話題になる

成果は？課題は？

ICT機器やデジタル教材のよさ

① 動画をすぐ見られる

② 写真をすぐ拡大できる

③ 大きく映し出すことができる

④ 画面を加工することができる

ICT機器やデジタル教材の課題

① 座席の配慮

② 座席隊形の工夫

③ 準備

土木とは

市民の文明的な暮らしのために
人間らしい環境を整えていく仕事

普通の暮らしのために

道

緑

川

土木の仕事

5年生 自然災害を防ぐ

1 時間目

我が国で近年起こった自然災害を知り、被害の防止について関心を高め、学習問題をつくる。

宮崎県日之影町で起こった土砂災害です。前は建物があつたのに、土砂がくずれてなくなつてしまいました。



去年の東日本大震災の津波です。気仙沼市はものすごい被害でした。まだ復興があまり進んでいないそうです。



学習問題

わたしたちの国では、自然災害をどのように防いでいるのだろうか。

2、3時間目

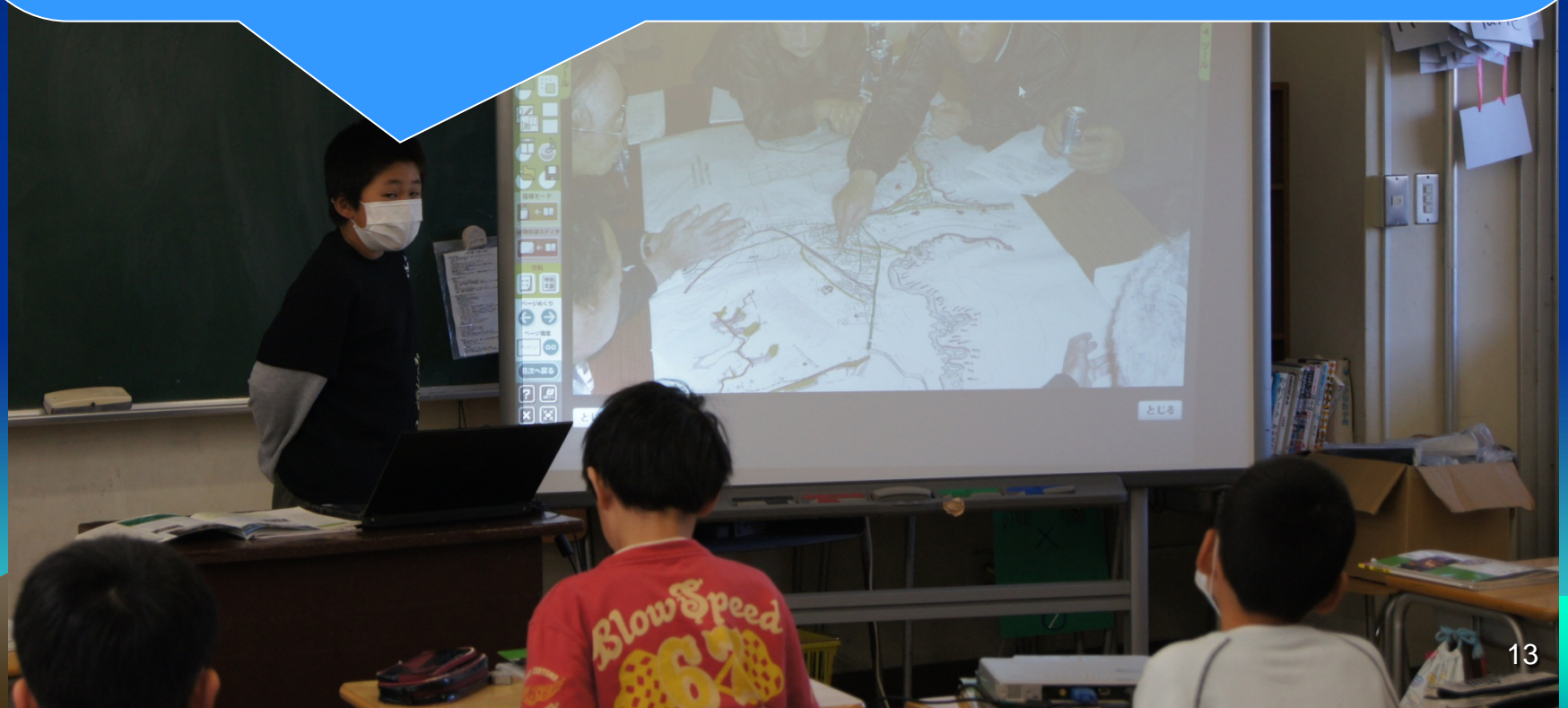
自然災害の被害を防ぐための国や都道府県、市町村などの対策や事業を調べ、発表し、第Ⅱ学習問題を見いだす。

事例：和歌山県の取り組み

和歌山県串本町では、**法律に基づいて防災計画**をつくっています。**防災マップ**をつくって、**避難場所の確認**などをしていることがわかりました。「**ゆれたら逃げる**」が合言葉なのだそうです。



災害の時は65歳以上の1人暮らしの人などを地域で助け合って支援するようになっています。自主的に防災訓練もしているそうです。



- ・避難場所や経路を確認する
- ・防災グッズを備える
- ・避難訓練
- ・逃げる意識を高める

自助

公助

- ・法律
- ・防災計画
- ・防災マップ
- ・堤防
- ・避難場所を整備
- ・避難訓練を実施
など

共助

- ・地域で助け合って支援
- ・自主的に防災活動をする
- ・災害時の助け合い

東日本大震災 宮城県仙台市・名取市













佐藤善雄



第Ⅱ 学習問題

自然災害から身を守るため、わたしたちは何ができるのでしょうか。

4時間目

自然災害から身を守るために、わたしたちは何ができるか、考え、話し合う。

学校で一生懸命避難訓練をする。

避難場所を決めておくなど、たまには家族できちんと話をする。

防災グッズを買って準備しておく。

近所の人とも助け合う約束をしておく。

成果と課題

成果

デジタル教科書を使って学習内容を共有できたため、学習意欲の温度差が小さい状態で学習を進めることができた。

デジタル教科書などを使い、具体的に事例についてとらえ、考えることができたため、学習を自分事として進めていた子どもが多かった。

課題

より効果的な教材の提示や発問の仕方。

ご静聴ありがとうございました。